



港沿いにある海運倉庫を改修してカフェやホテルが
(onomichi U2 複合商業施設)

ショップ、地元生産品のセレクトショップ、ワインバーなどを設け、施設全体で約70名の雇用を生みだしている。

ホテルは自転車の持ち込みが可能で、眼前に港を見下ろす広々とした空間やデッキでは自由にくつろげる施設を提供し、国内外の利用者も多く、稼働率は約7割と高い。2014年の国際大会には国内外から7300人も集まり、2000人が大会に参加した。

長野県も、また当村もグリーン期の観光の目玉としてサイクリングに力を入れたところだが、このような施設にも取り組むべきかはしっかりと議論すべきと思われる。

懇談会

多岐にわたって課題を提起

白馬村シニアクラブ

11月30日10時から、ふれあいセンター会議室で議会との懇談会を開催しました。現在、シニアクラブは吉沢会長(森上)以下18人の役員体制で高齢者の親睦行事やクラブの要望などを役場と話し合いを行っています。

当日は、議会側は12名全員参加、クラブからは9名の役員の方の出席で行われました。まず、12月議会直前でもあり、議員から一般質問の概要説明及び議会関連の話題や問題点について意見発表を行い、引き続きクラブ側から、議会に対する要望を聞きました。

要望、提案については、

- 復興住宅の進捗状況について
 - 特養の増設について
 - カーブミラーや標識が不十分との指摘
 - 未加入者問題と第二の税金の整理と公平な集金体制を
 - ふるさと納税の返礼品の充実を
 - TPP以降の白馬の農業について
- 等、多岐にわたる課題が提起され時間をオーバーして活発な話し合いが行われました。

時間を延長して活発な意見交換

白馬商工会

商工会役員と議会との懇談会が、12月7日に「元気な白馬村づくりに向かって」をテーマとして開催されました。

懇談内容は、

- ①制度融資の利子補給の拡充
- ②創業支援と創業助成の実施と具体化の実現
- ③海外からの観光客等の「夕食難民」問題と、迷惑行為の解消
- ④松本糸魚川連絡道路のルート案年内発表と同意形成について

会議時間を延長して活発な意見交換が行われました。

建設場所・間取り等決まる！復興住宅

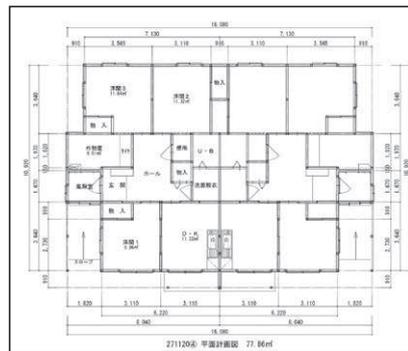
震災復興特別委員会

12月定例会初日の9日に開催された震災復興特別委員会に於いて、報告事項1件と協議事項1件が審議されました。

報告事項は、12月3日堀之内地区の城嶺砂防工事の竣工検査合格に伴い、村内全ての避難指示が解除され、これを受け平成26年11月22日に設置した、災害対策本部を復興支援本部に切り替えたとの報告がありました。

協議事項は、長野県神城断層地震に係る村営住宅の建設について、説明がありました。建設計画の概要は次のとおりです。

1. 建設場所と戸数
 総建設数 10棟18戸(内訳1棟2戸建て8棟・1棟1戸建て2棟)
 仮称堀之内東団地 (東部農村広場) 4棟8戸
 仮称堀之内西団地 (公民館東側民有地)3棟6戸
 仮称三日市場団地 (公民館南側民有地)2棟3戸
 仮称中学校西 (旧校長住宅跡地) 1棟1戸
2. 施設の概要
 住棟 木造平屋建て(1棟2戸・1棟1戸)間取り3DK
 面積77.8㎡
 屋根 落雪型(4寸勾配)雪割
3. 家賃
 ①震災被災者(入居者全員65歳以上場合・知的障害者等が同居の場合)
 収入月額に応じて月6,000円から16,000円の6段階の2,000円刻み
 ②上記以外は、公営住宅法に規定する家賃となります。
4. 概算事業費 約5億5000万円



計画されている公営住宅の間取り(案)



表紙の写真説明

「暖冬と言われていたが、ここまでは！」
 暮れ、正月以降も続いた春のような陽気。1月中旬の連休に至ってもまとまった降雪に恵まれず、村の経済に影響を与えました。

前号「わたしのひとこと」に原稿を寄せていただいた、平瀬久美子さんの行政区が抜けておりました。平瀬さんは大出にお住まいです。申し訳ありませんでした。

お詫び

むらの未来が見える
(12月定例会の傍聴者延べ31人)

議会傍聴においでください

次の定例会は3月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます